

地域防災を担う建設業の近年の災害対応状況

(編集：一般社団法人全国建設業協会)

東日本大震災(平成23年3月)における災害対応状況

- 平成23年3月の極めて広域的で大規模な東日本大震災に対し、**岩手・宮城・福島**の被災3県を中心とした東北6県の建設業協会の会員企業が道路の応急復旧や瓦礫撤去などの災害復旧支援活動を実施。
- 東北建設業協会連合会の実施した「東日本大震災における建設企業の活動実態調査」によると、**会員企業(地元建設企業)の7割は自らも被災した中で緊急対応活動を実施。**



陸前高田市 瓦礫撤去作業(岩手県建設業協会)



仙台市若林区 道路啓開作業(宮城県建設業協会)



南相馬市 瓦礫撤去作業(福島県建設業協会)

【事例】宮城県建設業協会 会員企業による緊急対応実績 (発災後概ね2週間)

会員企業	213社	緊急対応	建設機械等	1,381台	瓦礫撤去	建設機械等	1,302台
作業人員(延べ)	25,996人		ダンプトラック	1,941台		ダンプトラック	2,140台

茨城県で発生した竜巻被害(平成24年5月)における災害対応状況

- 平成24年5月、茨城県つくば市などを襲った大型竜巻に対し、**茨城県建設業協会土浦支部つくば分会(会員数92社)**では、**現地対策本部を直ちに立ち上げ、倒壊した電柱や道路に散乱した瓦礫撤去作業を不眠不休で行った。**



瓦礫撤去作業(茨城県建設業協会)

【事例】茨城県建設業協会 土浦支部 つくば分会 1日あたりの会員企業の活動実績

作業員	145人
建設機械等	26台
ダンプトラック	55台

九州北部豪雨(平成24年7月)における災害対応状況

- 平成24年7月の九州北部豪雨の「これまで経験したことがないような大雨」による広範囲の被害に対し、**各県建設業協会の会員企業が土砂の除去や陥没した道路の復旧などの応急措置を実施。**
- 熊本県建設業協会では、**会員企業から延べ12,269人が最前線で昼夜の応急復旧活動を実施した。**



大型土のう設置作業(熊本県建設業協会)

【事例】熊本県建設業協会 会員企業の活動実績

会員企業数(延べ)	6,154社
会員企業(実績)	328社
作業人員(延べ)	12,269人
建設機械等	3,848台
ダンプトラック	2,563台

宮崎県で発生した口蹄疫(平成22年4月)における防疫対策状況

- 宮崎県内で口蹄疫が発生した平成22年4月20日から、終息を迎えた8月27日までの約4カ月の間、**宮崎県建設業協会は会員企業従業員を総動員し、防疫対策に奔走。**
- 県内10地区に設置された消毒ポイントでも**会員企業従業員の多くが24時間体制で作業にあたった。**



家畜埋却作業(宮崎県建設業協会)

処分した家畜の合計頭数

県全体	288,643頭
牛	68,266頭
豚	220,034頭
その他 (羊・山羊など)	343頭

島根・山口豪雨(平成25年7月)における災害対応状況

○平成25年7月28日未明からの島根県と山口県における「これまで経験したことのないような」記録的豪雨による被害に対し、**島根及び山口の各県建設業協会の会員企業は、地域住民の安全・安心を守るため、昼夜を問わず、土砂の撤去や道路の応急復旧などの緊急対応活動を実施した。**

【事例】益田建設業協会(島根県) 会員企業の緊急対応実績(初動10日間)

会員企業	8社
作業人員(延べ)	120人
建設機械等	263台
ダンプトラック	89台



法面崩落復旧作業(島根県建設業協会)

【事例】山口県建設業協会 会員企業の緊急対応実績(初動3日間)

会員企業	31社
作業人員(延べ)	540人
建設機械等	189台
ダンプトラック	190台



道路崩壊復旧作業(山口県建設業協会)

岩手・秋田豪雨(平成25年8月)における災害対応状況

○平成25年8月9日、岩手県と秋田県では、「これまで経験したことのないような大雨」により、河川の増水や土砂災害が発生し、甚大な被害がもたらされた。

○**岩手及び秋田の各県建設業協会の会員企業は、法面崩落箇所の道路啓開作業や土石流の撤去作業など迅速な応急復旧活動を不眠不休で行った。**

【事例】岩手県建設業協会 会員企業の緊急対応実績(概ね2週間)

会員企業	34社
作業人員(延べ)	2,255人
建設機械等	838台
ダンプトラック	401台



道路啓開・土石流処理(岩手県建設業協会)

【事例】秋田県建設業協会 会員企業の緊急対応実績(概ね3週間)

会員企業(延べ)	276社
作業人員(延べ)	1,246人
建設機械等	1,814台




土石流撤去作業(秋田県建設業協会)

台風18号(平成25年9月)に伴う豪雨における災害対応状況


○平成25年9月16日、台風18号による豪雨により、福井・滋賀・京都の3府県では、初の「大雨特別警報」が発令され、大雨に伴う河川の氾濫や土砂災害により、甚大な被害が発生した。

○福井・滋賀・京都の3府県建設業協会の会員企業は、直ちに法面崩落箇所の道路啓開作業や土石流の撤去作業など被害拡大防止のため、懸命の応急復旧活動を昼夜を問わず実施した。


【事例】福井県建設業協会 会員企業の緊急対応実績(30日間)		【事例】滋賀県建設業協会 会員企業の緊急対応実績(概ね1ヵ月間)		【事例】京都府建設業協会 会員企業の緊急対応実績(初動9日間)	
会員企業(延べ)	528社	会員企業(延べ)	233社	会員企業(延べ)	92社
作業人員(延べ)	7,746人	作業人員(延べ)	6,106人	作業人員(延べ)	888人
建設機械等	221台	建設機械等	2,043台	建設機械等	190台
ダンプトラック	230台	ダンプトラック	2,085台	ダンプトラック	295台



大型土のう設置作業(福井県建設業協会)



大型土のう設置作業(滋賀県建設業協会)



橋梁部の流木除去作業(京都府建設業協会)

伊豆大島の土砂災害(平成25年10月)における災害対応状況

○平成25年10月15～16日に襲来した台風26号の大雨により、伊豆大島(東京都大島町)で大規模な土砂災害が発生するとともに、死者35名、行方不明者4名、住家全壊73棟、半壊45棟など甚大な被害が発生した。

○被害を受けた伊豆大島の復旧対応について、東京都から要請を受けた東京建設業協会はオペレーター付き建設機械の派遣や土のう・生石灰・サンドポンプなど60品目を超える資材の支援を実施。

【事例】東京建設業協会 会員企業の建設機械の調達実績

建設機械等	14台
ダンプトラック	7台



土石流撤去作業(東京建設業協会)

【事例】東京建設業協会 会員企業の建設資材の調達実績

土のう	45,300袋
生石灰	200t
ブルーシート、サンドポンプ、発電機ほか	



土のう設置状況(東京建設業協会)